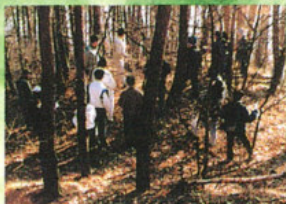


32号古墳



34号古墳



35号古墳



56号古墳

56号

空堀状の溝

35号

空堀状の溝

32号

34号 (遊歩道から見えます)

33号 (林の中にあります)



しょうづま
生妻池

畑


31号 (林の中 電柱が目じるして)

開成中学校前

古墳

開成中学校

 古墳

 中山36号古墳が
あったところ

 バス停

 信号機

 道

 山道

||

||

約100m

和泉川

かごやまこふんぐん

中山史跡めぐりマップ① = 棺護山古墳群 =



はんさんかくろくごふんぐん
半三角縁六獣文鏡
(中山36号古墳出土)

かごやまこふんぐん 棺護山古墳群

松本市立考古博物館

棺護山は神田と中山地区の境にあり、山頂に開成中学校があります。
古墳は尾根づたいに点在し、現在も7基の古墳を見ることができます。

古墳DATA (棺護山は蛇が多いことで知られています。注意しましょう)

古墳名	形	大きさ(m)	摘 要	主な出土品
名称なし	円墳	経約10	道沿いにあり、一部が削られています。	
中山31号古墳	円墳	経14.0 高2.6	藪の中にあるので、冬期のみ開成中学の敷地から見るすることができます。	
中山32号古墳	円墳	10.5 4.0	墳頂部が陥没しています。	
中山33号古墳	円墳	12.0 4.0	石室？部分が陥没して馬蹄形になっています。	
中山34号古墳	円墳	13.0 4.5	石室？部分が陥没して馬蹄形になっています。	
中山35号古墳	円墳	30.0 3.0	ひじょうに残りのよい松本市内最大級の古墳です。	
中山36号古墳	方墳？	20.0 1.5	昭和47、平成6年度に発掘。現在その場所は開成中学校のプールになっています。	鏡・壺
中山56号古墳	円墳	約30.0 3.0	棺護山の尾根上にあるかなり大きな古墳です。	
棺護山1号古墳	円墳	18.0 1.8	昭和34年に発掘。現在その場所は開成中学校の校舎になっています。	特になし
棺護山2号古墳	円墳	14.9 1.6	昭和34年に発掘。現在その場所は開成中学校の校舎になっています。	剣・鉄鏃・砥石
棺護山3号古墳	円墳	不明	昭和34年に発掘。現在その場所は開成中学校の校舎になっています。	剣

【参考文献：桐原 健「松本市中山の古墳、古墳群」長野県考古学会誌36号（1980年）】

中山古墳群とは？

弘法山古墳を含む中山地区にある古墳全体の通称で、古墳の通し番号が付けられています。中山36号古墳などはその1例です。

棺護山の由来は？

棺護山古墳群は「棺を護る山」と、いかにも古墳がありそうな名がつけられています。この地名は、昭和11年に発行された長野県町村誌の「村の中央字棺護山に陵塚五カ所あり」との記述からつけられている名称です。この周辺の小字は「籠山」という字がつかわれており、いつから棺護山と呼ばれているのか、定かではありません。